

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙 No.48 平成18年4月1日発行

昨年度の総括、そして新年度へ ～今年も社会安全に奉仕します～

平成17年度を大過なく過ごし・・・平成18年度が始まりました。昨年度の総括をしながら新年度の活動について考えていきたいと思えます。

平成17年度は「救急奉仕団」から「安全奉仕団」に発展的に移行をした年であり、本団としての記念すべき年となりました。そんな中で、多くの方々の御賛同を得ることができ、心同じくする仲間総員71人の団員構成となりました。平成17年度の活動で特記すべきことと言えば、「社会安全に奉仕する」目的で、伊東市の団員が活躍した「伊東市海のボランティア」がまずあげられます。「伊東市海のボランティア」は、伊東市オレンジビーチと宇佐美海岸において、37日間、活動団員51人（延べ）、救護者数165人で活動を完結いたしました。前年度までは、毎年犠牲者が発生した同海水浴場も、今年は1人の犠牲者の発生が無く閉場することができました。伊東市の団員は、海のボランティアに関わるにあたり、自主学習をするとともに、活動の中では「事故防止」を基本に活動を進めてきました。

また、大道芸ワールドカップへも、5日間44人（延べ）の団員を派遣し、来場者や参加者の安全を確保するために奉仕いたしました。これらの救護活動により、関係各方面から非常に高い評価を得ることができました。

さて、平成18年度も、昨年度の活動を基本として、「社会安全に奉仕する」ことを目的に進めていきます。委員会において総会上程議案を作成し、新年度の早いうちに定期総会を開催いたします。総会の日程等につきましては、支部ホームページとメール配信により連絡をいたします。多くの団員の皆さんに御出席をお願いいたします。

国内向け緊急対応ユニット（d-ERU）展開訓練開催される

3月25日（土）引佐赤十字病院を会場に、県内赤十字病院救護班、血液センター血液供給班と支部職員総勢80人の参加で、d-ERU展開訓練が開催されました。d-ERUは、1日100人3日間の治療が可能な医薬品等を備えた「簡易診療所」となる機能を持ちます。先の中越地震災害救護では、4基が活躍しました。

今回の展開訓練は、赤十字職員を対象としたものですので、本団は見学にとどめました。今年度は、d-ERUの取扱い、展開、運営、撤収等についての訓練を、東・中・西部地区で開催されます。今回の訓練を見学したことで、d-ERUについての知識が少なからず習得でき、今後の訓練においてもその知識が生かされていくと思えます。今回見学できなかった団員は、次回の訓練で知識と技術を高め、実災害に備えていただきたいと思います。（訓練・研修部会）

今月の眼（見た）・耳（聴いた）！「アルコール肝障害って・・・なあに」

新年度になりました。お花見・歓迎会と「飲み」の席も多くなるのではないのでしょうか？
そこで今回は、『アルコール性肝障害』について触れてみたいと思えます。

『アルコール性肝障害』は、酒類の飲みすぎによっておきる「肝障害」のことです。予防としては、飲酒をやめるか少なくすること。また、バランスのとれた食事をし、特にたんぱく質が不足しないように注意をしてください。その他にも☆自分の適量を知りそれを守る、☆暴飲を避ける、☆マイペースで飲む、☆食べながら飲みできるだけたんぱく質をとる・・・等に気を付けることが大切です。お酒の飲み過ぎが原因で、「アルコール性肝硬変」に進行することもありますので・・・ご注意ください！ ～楽しい宴席になることを祈っています♪～

（機関紙・広報部会）